

意見書

平成 21 年 2 月 20 日

IT 戦略の今後の在り方に関する専門調査会 御中

郵便番号 105-7304
(ふりがな) とうきょうとみなとくひがしんぼし
住所 東京都港区東新橋一丁目 9 番 1 号
(ふりがな) びーびーかぶしがいしや
氏名 ソフトバンクBB株式会社
だいひょうとりしまりやくしゃちょうけんしーいーおー そん まさよし
代表取締役社長兼 CEO 孫 正義

郵便番号 105-7316
(ふりがな) とうきょうとみなとくひがしんぼし
住所 東京都港区東新橋一丁目 9 番 1 号
(ふりがな) かぶしがいしや
氏名 ソフトバンクテレコム株式会社
だいひょうとりしまりやくしゃちょうけんしーいーおー そん まさよし
代表取締役社長兼 CEO 孫 正義

郵便番号 105-7317
(ふりがな) とうきょうとみなとくひがしんぼし
住所 東京都港区東新橋一丁目 9 番 1 号
(ふりがな) かぶしがいしや
氏名 ソフトバンクモバイル株式会社
だいひょうとりしまりやくしゃちょうけんしーいーおー そん まさよし
代表取締役社長兼 CEO 孫 正義

「デジタルジャパン」(デジタル新時代に向けた新戦略)の緊急対策(2009～2011 年を対象)の原案と中長期戦略(2009～2015 年を対象)の骨子策定に関し、別紙のとおり意見を提出します。

このたびは、「デジタルジャパン」の原案等の策定に関するパブリックコメントの募集に関し、意見提出の機会を設けて頂いたことにつきまして、御礼申し上げます。

以下のとおり弊社共の意見を述べさせていただきますので、宜しくお取り計らいの程、お願い申し上げます。

意見項目	意見
(1) デジタルジャパンの目標について	<ul style="list-style-type: none"> 「デジタル・エコ社会」や「デジタル成長社会」は実現すべき将来像であり、デジタルジャパンの目標として適切であると考えます。
(2) 目標を達成するために必要な施策について ○ デジタル情報流通の円滑化と効果的活用	<ul style="list-style-type: none"> この目標を実現するために必要な具体的な施策としては、以下の4点を提案します。なお、提案内容の詳細については、別添資料を参照ください。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政処理の煩雑さ パスポート、運転免許証、健康保険証、民間発行の各種カード等、サービス間の不統一 不正契約等への対処プラットフォームの不統一 電子政府等の実現にあたり、前提となるブロードバンド環境導入が不十分 <p>【提案】 <クラウド、デジタルIDを活用した官民サービス連携の実現></p> <ul style="list-style-type: none"> 行政、民間の双方において、クラウドを構築し、デジタルIDを用いてクラウド内・クラウド間で様々なサービスの連携を実現する。 光ファイバ・広帯域無線による超高速ブロードバンドネットワークを全国の各家庭等まで整備し、ネットワークを介して、あらゆる生活拠点においてクラウドと直結する。 利用者は、デジタルIDを用いて、いつでもどこでも様々な行政・民間相互間での連携サービスが利用可能となる。

意見項目	意見
<p>○ デジタル情報・技術の活用で環境に貢献する施策</p>	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の学力低下 ・ 国際的人材の不足 ・ 毎年配布される教科書の紙資源 <p>【提案】 <電子教材の普及等による環境対策並びに学力向上の実現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各生徒にタブレット PC 等を配布し、教室にも電子黒板等を整備することで、授業・教材のデジタル化を実現する。 ・ 学校、家庭、学習塾等を超高速ブロードバンドネットワークを用いて接続し、いつでもどこでもデジタル授業・教材を利用可能とする。 ・ 加えて、教材のダウンロードを行う電子教科書等の採用に伴い、教育格差・デジタルデバイドをなくすため、全国の通学路経路等も含め日本の隅々までをカバーする携帯電話網整備を実施する。 ・ また、教材のデジタル化により、主として毎年配布される教科書の紙資源を削減し、CO2 排出量を削減したデジタルエコ社会を実現する。 ・ さらに、デジタル化に伴い、教材の多様化、授業の効率化が行われることにより、学習意欲・学力向上を実現する。
<p>○ デジタル時代への対応をさらに積極的に進めるべき分野における施策</p>	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化に伴う患者の増加、一部地域・病院等における医師・病床の不足による、医療未受診者の増加 ・ 救急救命搬送時の受け入れ拒否 ・ 緊急度の低い救急出動の増加や、救急時の到着遅れ <p>【提案】 <在宅診療の普及及び救急搬送時の対応改善></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高解像度のテレビ電話システムの普及により、在宅診療を実現することで、高齢化及び医師不足に対応する。

意見項目		意見
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 119 番通報時の遠隔一時診療実施による、軽微な処置と救急搬送の緊急性判断を実現する。 ・ 救急指令と病院のネットワーク化により、救急受け入れ情報の管理を高度化し、救急搬送を最適化する。 ・ さらに、病院の受け入れ可否情報のシステム化を進めることにより、受け入れ可否情報の更新頻度を上げ、受け入れ拒否の起こる可能性を軽減する。 ・ また、搬送中の救急車から病院への動画・生体情報伝送を実施することにより、搬送中の適切な処置実施と、搬送先病院側の受け入れ態勢の改善につなげる。
	<p>○ デジタル情報・技術があまり活用されていなかった分野への導入・利用を図る施策</p>	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の食料自給率の低下 ・ 農業従事者の高齢化等に伴う、農業人口の減少 ・ 農業等の一次産業におけるデジタル技術活用の未浸透 <p>【提案】 <デジタル技術活用による農業活性化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ センサー・ネットワーク等の活用により、農地管理・作物管理を効率化する。 ・ IC タグの導入により、トレーサビリティ確保による消費者への安心・安全の提供や、流通過程の効率化を実現する。 ・ 電子決済の導入により、生産者と消費者を直接つなぎ、生産者からの直接販売を実現し、生産者と消費者双方の付加価値向上を図る。 ・ 超高速ブロードバンドネットワーク整備により、生産者、流通、消費者相互間、及び生産者相互間の連携が可能となり、新たなサービスを生み出せるようにする。 ・ これらのデジタル技術活用による農業活性化により、我が国の食料自給率向上及び農業における雇用拡大等を実現する。

以上